

# 保育用人形芝居を觀て

氏 原 銀

五月二十四日、幼稚園協會主催で、東京女高師附屬幼稚園遊戯室で、人形芝居を見せていたとききました。府下多數の保育者諸氏のお集りになつて盛會で御座いました。此人形芝居に付きましては倉橋先生の説明的御講話が有りましたが、私は折悪しく家事の都合で遅參いたしましたので、其最初よりのお話を承ることが出來ず、終の方丈けを拜聽しましたので此事柄の詳細な記事が出來ません。が、此人形芝居が如何に幼兒を喜ばすものなるかを當日出席せられぬ方々殊に遠隔の地に在る會員諸氏に、此の概要をお知らせ致度申述べべる事に致しました。

此人形芝居の道具は、前年倉橋先生が洋行なされし際あらで求めになつてお持ち歸りになつた物で何處へも持ち運ばれる至極便利な物で御座います。彼の大阪で有名な文樂座の人形芝居の人形は、等身大で、其人形遣ひが舞台に出て其太夫の語る淨瑠璃の意味に合して作用をなすものなれど、此人形芝居は其人形使用者が其題のお嘶と口演の兩役を兼るもので、其人形の大きさも、普通の玩具位で、丈け五六寸乃至七八寸の物で、精巧のものでなく、自製せられるもので、文樂座のもの、凡ての點に異なる處あり。其道具は木製で凡一間位の衝立様の物三つを排べ、其中央の衝立

の上部に窓を明け此處を舞台面として幕の裝置あり、此中央衝立の後方凡二尺餘の處に衝立を置いて其演題の背景畫を貼付して舞台面と對照す。此前衝立と後の衝立との狭き間に、其人形使用者兼口演者の座して舞台面に指頭で人形を作用す。其登場人物の役により、此狭き中に三四人入りて其役をなす事は随分窮屈な仕事なれど、此主演者お茶の水幼稚園の保姆諸氏の能く之れに堪へ、其演出の巧みなる満場の感服せられたり。私は此の前にも二回此人形芝居を此園の幼兒に見せられたる際參觀して、其幼兒の如何にも滿悅せる状態を見ました。此芝居による嘶其物は聽覺視覺の兩作用により、其意味を面白く會得し且其動作の微細なる點を見る事は、兎ても唯耳から入るお嘶の想像の及ばざる處は同日の論に非ず。實に興味多大深甚の感を付與するもので御座います。

此人形芝居の實演に付ては其技術益々上達せら

れ、其背景畫の美しく、其お嘶振り(説明)の簡單平易にして角張らず、毫も理屈がまじき點なき事を感心致します。就ては之れが練習を要する事は申迄もなく、折を得て其人形の製作及び、其使用方を傳習せられて幼兒教育に使用せられん事を、お勧め致し度、其費用は幾らかかるかは取調べざるも、大したものにてはなくと存じます。前述の如く此道具は簡單の物なり。要する處は之れが練習と工夫に有り。拙文を以て此記事をなす。

草花を壓する木々の茂かな

子規